

演題 登録番号	演題番号	セッション名	発表 (分)	質疑 (分)	演題名
10012	O1-1	9:05-10:15 一般演題1 腫瘍マーカー喫緊の課題 ～膵癌と大腸癌	6	2	アポリポ蛋白A2アイソフォームによる早期膵がん診断と膵切除術後の膵外分泌機能評価
10019	O1-2		6	2	3年間不変の限局性膵萎縮と腫瘍マーカー陰性を呈しApoA2アイソフォームのhyperprocessingパターンが認められたStage 0膵癌の1例
10013	O1-3		6	2	早期膵癌に対する宿主応答型血液mRNA診断システムの有用性—診断精度と臨床的特徴の探索的解析—
10021	O1-4		6	2	膵癌におけるCXCR2陽性granulocytic myeloid cellsの同定と新規予後マーカーの探索
10015	O1-5		6	2	尿中microRNAシグネチャーによる大腸癌の早期検出
10016	O1-6		6	2	大腸癌関連細胞外小胞を標的としたTSPAN10血液診断法の開発
10008	O1-7		6	2	シングルセルPseudobulk解析による大腸癌微小環境におけるSPARCの役割の再定義
10020	O1-8		6	2	大腸癌間質におけるC1S発現癌関連線維芽細胞の転写学的多様性と腫瘍微小環境制御の検討
10014	O2-1	10:15-11:15 一般演題2 腫瘍マーカー往年の課題 ～胃癌と肝癌	6	2	胃発がん過程におけるCpGアイランド高メチル化とCpG poor領域の低メチル化の解析
10006	O2-2		6	2	胃癌におけるTGF- β 2発現の意義
10010	O2-3		6	2	FGGはICAM1/ β -catenin axisにより胃癌の悪性度を促進する
10018	O2-4		6	2	シングルセルRNA 解析を用いたスキルス胃癌の発現細胞と腫瘍微小環境解析
10007	O2-5		6	2	腫瘍関連自己抗体による肝疾患診断モデルの開発
10004	O2-6		6	2	Atezolizumab + Bevacizumab治療肝細胞癌における治療前サイトカイン・臨床因子を用いた奏効予測バイオマーカーの探索
10001	O2-7		6	2	ラットの肝発がんイニシエーション: 前がん細胞誘発のトリック
10022	O2-8		6	2	TMB-low肝細胞がんにおける自己腫瘍反応性CD8+ T細胞のシングルセル解析による 肝細胞がんの免疫療法感受性を規定する生物学的基盤の解明と新規治療標的の探索
10002	O3-1	11:15-12:05 一般演題3 腫瘍マーカー癌ごとの取り組み	6	2	がんゲノムプロファイリング88,688例のC-CATデータベースに基づくNTRK融合遺伝子の検討
10003	O3-2		6	2	脳脊髄液cell-free DNAを用いたMYD88 L265P変異解析による原発性中枢神経系リンパ腫の診断・病勢評価・治療モニタリング
10017	O3-3		6	2	術前治療後食道扁平上皮癌の残存癌細胞におけるRAD51発現の予後予測マーカーとしての意義
10011	O3-4		6	2	卵巣明細胞癌におけるSET発現と臨床病理学的因子との相関性
10005	O3-5		6	2	ミトコンドリア内1炭素代謝は乳癌の腫瘍形成と肺転移を促進する
10009	O3-6		6	2	Triple-negative乳癌におけるCDO1発現低下後の悪性細胞状態とPAI1/LINC01605プログラムの解析